

1年生のみんな、ようこそ北大へ

入学おめでとう！ みんなは今、どんな思い？
新しい生活に期待？ 不安？

大学に入ってひと段落？ とはいかないサポ。

大学で始まる **新しい講義** に取り組んだり、総合入試で入学した
学生は、12個もある学部から **自分の学部を選択** していくよ。

そんな時、ぜひ活用してほしいのが **ラーニングサポート室**！
(通称:ラーサポ, LSO)



ラーサポ HP



時間割の組立てはすごく大事

入学したみんなが直面する時間割の作成。
時間割は **学部選択** や **移行点** に関わる
とっても大事な作業なんだ。

一度、ちゃんと**時間割、見直してみない？**
何から手を付けていいかわからない学生も
ぜひラーサポに来るサポ！

@ 高等教育推進機構 2階 E211室

高校との違いが、、、

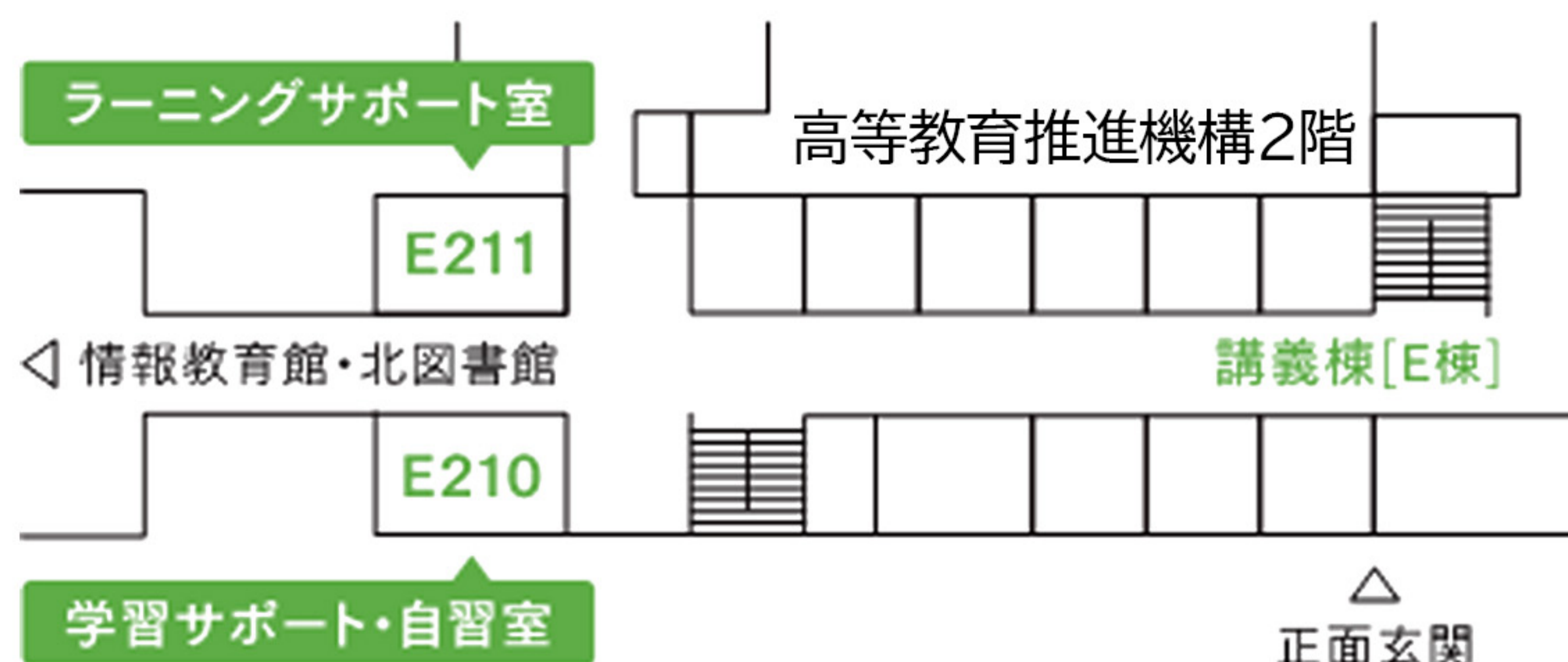
授業が始まると
「高校の時は得意だった数学がわからない。」
「レポートや発表、どう作っていけば、、、」
なんて課題が出てくることも。

そんな **勉強や授業の悩みもラーサポ** に！
授業での不明点などをチューターに聞けるよ。

@ 高等教育推進機構 2階 E210室

高等教育推進機構2階 E210&E211に直接来るサポ！

- **移行・履修・志望学部に関する相談** E211室
平日 10時 - 18時15分 (通年)



- **学習に関する相談** E210室
平日 12時 - 18時15分 (4月15日開始)

みんなの来室を待ってるサポ！

<イベント開催>

ラーニングサポート室
『時間割の作り方展』
4月5日-12日 @E211

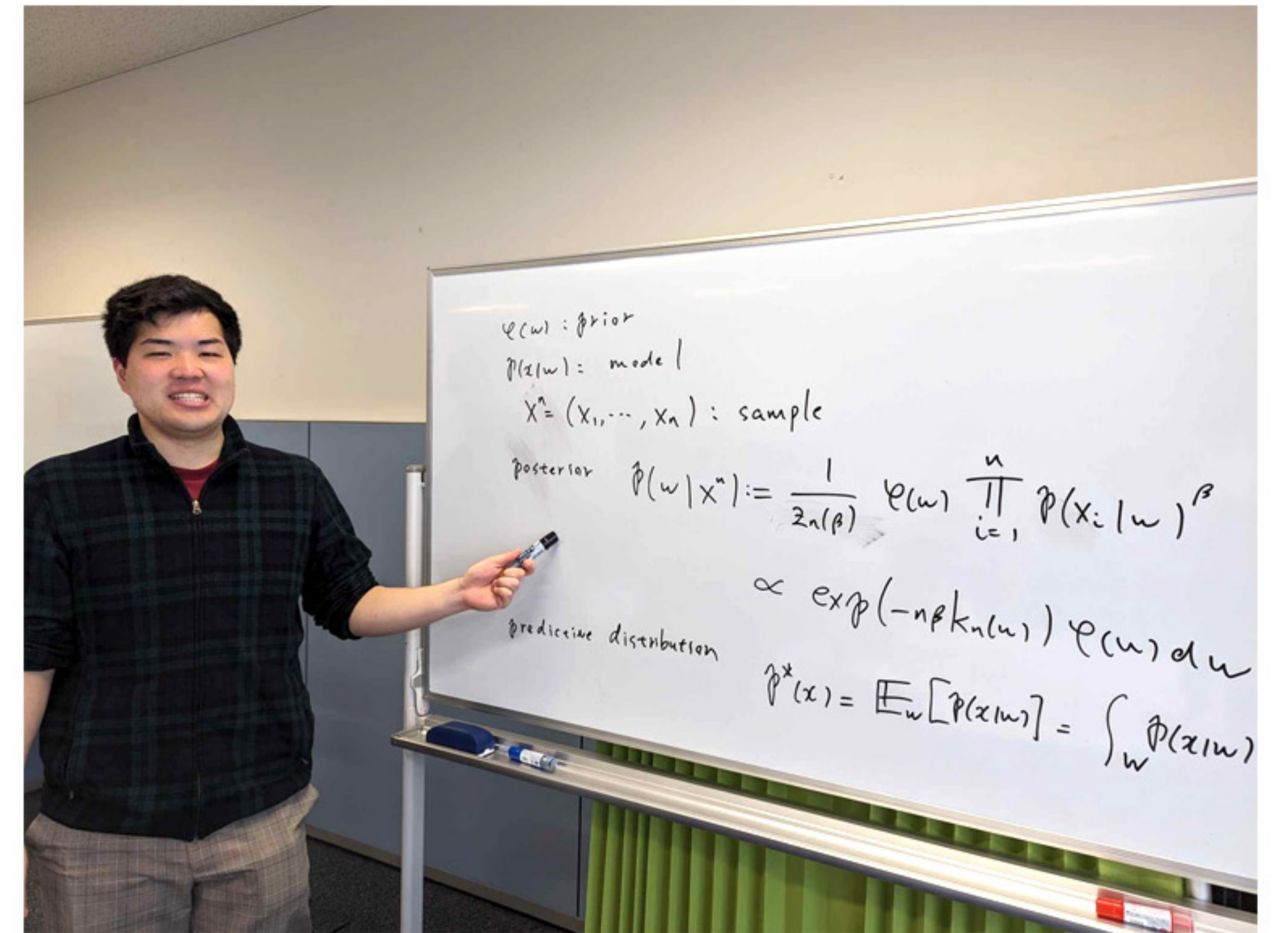
<裏面>

(2023年度) LSO
学習サポート功労賞
山口 航輝 さん から
1年生にメッセージ

「君たちはどう学ぶか」

山口 航輝

2023年度ラーニングサポート室チューター功労賞
北海道大学情報科学院情報科学専攻情報理工学コース
修士課程修了



「とにかく単位がほしい」「A+を取りたい」「研究を見据えた学びをしたい」どれも自然で立派なモチベーションだと思います。大学は教育機関であり研究機関ではありますが、突き詰めればキャリア形成の一部でしかなく、各々が自身の将来に対して必要な量の努力をすれば十分だと思います。(個人の見解です。)

私は北大での6年間を通して、大学で学ぶことの難しさは「志を共にする仲間を見つけるのが容易でないこと」「自分に必要な情報を得るのが容易でないこと」の2つであると思いました。大学で扱う内容は、1人で解決できるものばかりでなく、大抵の場合、複数人で話し合った方が理解が早く深くなるが多かったと感じます。しかし、本気で学びたい人もいれば単位が取れば良いと考える人もいて、対等に話し合える相手を見つけるのは容易ではありませんでした。また、教科書のレベル感や勉強法に関する情報が乏しく、自身の能力や目標に見合ったものを見つけることがとても大変でした。

さて、これを踏まえて学び方についての私見を述べます。重要なことは、冒頭で述べたような学問に対する目標や動機を共にする仲間を見つけることと、必要な情報を得ることです。その上で、得た情報を元に仲間と議論を交わすことが最善の学び方だと思います。

ただし、これを実現するのが難しいという話でした。そこで提案したいのが「LSOでチューターと共に学ぶ」ことです。LSOの学習サポートでは、勉強に関する疑問や悩みを院生チューターと共に解決することができます。疑問や悩みに対し、正解そのものを教えるわけではなく、議論をする形で1年生自身による解決を目指します。院生チューターの役割は、課題の解決のために必要な情報を共有し、議論の相手になることです。つまり、LSOに来れば、情報を得ることと議論をする相手を見つけることの両方を叶えることができます。“真に対等な仲間”ではないかもしれませんが、チューター達は学生それぞれの目線に合わせてお話しができるメンバーです。担当科目に関して熟知しているため、道筋や着地点を違えない議論や、各学生の目標のために必要十分な情報の共有、目標に合わせた勉強法や教科書の提案が可能です。

LSOを堅い言葉で表現してしまいましたが、1年生に伝えたいことは「チューターとお話しをしながら一緒に勉強しませんか」です。大事なことは、自身の目標と課題を言葉にすることです。その壁打ちの相手としてLSOを活用することを選択肢に加えてもらえたら幸いです。疑問や悩みが固まってなくても大丈夫です。「何が分からないのか」「何で困っているのか」疑問や悩みを固めるところからお話しを始めましょう。